

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会 平成21年度いのちのメッセージ発信事業

「夢をありがとう」(道徳)

高岡市立博労小学校4～6学年児童、保護者
平成21年6月13日実施

【いのちの先生】

齊藤 寛明先生

(株)丸井勤務後、豆腐工場を設立。障害のある従業員9名を雇用。

【内容】

- (1) PTA会長あいさつ
- (2) いのちの先生紹介
- (3) 講演「夢をありがとう」
自己紹介
齊藤さんの話
齊藤豆腐店での活動の様子
(映像で紹介)
一人一人の仕事内容や
夢の発表
全員合唱
- (4) 校長あいさつ
- (5) 各教室で感想記入、話し合い

齊藤さんへ

私は、齊藤さんのお話を聞くまであまり自分が好きじゃありませんでした。なぜかというと、みんなより足が速くないからです。朝トレや体育の時間で走るとき、いつも6年生や5年生のクラスのみんなに、「おそい」と言われなにかどきどきしています。でも、齊藤さんのお話を聞いて、自分は手も足も自由に動かせるし、お母さんもお父さんも元気なので、とても幸せなんだなと思いました。だから、朝トレや体育で走るときは自信をもって一生懸命走りたいです。大人になっても、自信を忘れないで、何事もチャレンジして立派な社会人になりたいです。みんなにも、自信を忘れないで、生きて行ってほしいです。

また、健康に生まれても、簡単に自殺する人がいるけど、障害があってもこんなに一生懸命生きているのだと感動しました。他の人にもこのことを伝えたいです。それから、私にも苦しいことや投げ出したいことが出てくるかもしれないけど、齊藤さんのことを思い出して、両親にも感謝して精一杯自信をもって生きたいです。

最後に、齊藤さん、いのちの大切さを教えてください、本当にありがとうございました。私も世界の人々にいのちの大切さを教えてあげて、いじめや自殺のない平和な世界にしたいです。

いのちのお話

「夢はあきらめなければ叶う」その言葉が私の心に響いた一言でした。齊藤さんと一緒に来られた7人の仲間たちはみんな障害のある人です。話を聞いていても意味のわからない部分もありました。でも、私は知的障害があっても、ひたすら夢に向かって一生懸命がんばる姿を見てとてもひかれました。最後の「きずな」という歌の歌詞に「ありがとう、生まれてきたことに」とあります。この言葉には深い意味があると思いました。

私は、この講演会でいろいろなことを学びました。「生まれてきたことにとても感謝しなければならないこと」、「夢はあきらめてしまうとそこで終わってしまうこと」、「夢はあきらめなければ絶対に叶うこと」まだ私の夢は完全に決まっていません。決まったら、もし挫折しそうになっても絶対にあきらめません。あきらめなければ夢は絶対に叶うから。

人は一人では生きていけない

私は、7人の障害のある方々がそれを受け入れ、自分と向き合いながら一生懸命生きていることにとても感動しました。特に、どの人も自分の夢をもち、それに向かって練習したり、いろいろなことを学んだりして、毎日一步一步踏み出しているんだということが心に残っています。

サクソという楽器で音楽を真剣に演奏していた人やいつかは花嫁さんになりたいという人たちの夢のために、齊藤さんは一生懸命教育していてすごいと思います。はじめは言葉がうまく使えなかった子どもや麻痺した部分がある人も、齊藤さんの豆腐工場に来てからは、一層元気になったのではないかと思います。名前の紹介や詩の紹介などでも、精一杯がんばっていることが伝わってきました。声でなんと言っているのかが分からなくても、心では伝わっていると思っています。「きずな」という歌を歌っているときの様子を見て、とても感動して、思わず泣いてしまいそうなくらいでした。「努力はうそをつかない」、「人は一人では生きていけない」という言葉が心に残っています。私はみんなの役に立っているのかなと考えていました。これから、どんなこともあきらめずにと、いつも明るくいることを目標にし、がんばりたいです。

今日の授業で元気と勇気と自信がもてました。たくさんのことを教えてくださった齊藤さんに心からお礼を言いたいです。